

松原豊写真展

大槌町 / 2011夏・2012冬

市町村合併により、三重県の「村」が消えてしまいました。その光景を、「村の記憶」として写してきた写真家の松原豊氏は、昨年8月に初めて岩手県大槌町を訪れ、東日本大震災から復興に向けて立ち上がろうとしている大槌の人々、さらには震災によって傷ついた大槌のふるさとの風景と出会いました。今年1月、再び大槌町を訪れた松原氏は、夏に出会った人々との再会を通じて、今の大槌町の様子を写しました。

このたび、松原氏の2011年夏と2012年冬の作品による写真展を開催します。この機会を通じて、東日本大震災により大きな被害を受けた現地の時間の流れを感じていただき、この震災を「記憶」する機会になればと思います。

津市美里図書館会場

平成24年

6月3日(日) - 25日(月)

開館時間 9:00 - 17:00

*休館日 6月5日、12日、19日



岩手県大槌町 ©2012年 松原豊

松原 豊 まつばら ゆたか

写真家。1967年三重県生まれ。津市(旧美里村)在住。東京写真専門学校名古屋校(現名古屋ビジュアルアーツ)卒業後、アシスタントを経て独立。NAGI、kalasなど地域文化誌の撮影に携わると同時に、村を記憶する「写真師」としての撮影をライフワークとする。2010年、写真展「村の記憶」を三重県立美術館、多気町立勢和図書館で開催。2011年6月1日、写真集『村の記憶』を月兎舎より出版。同年9月には新宿ニコンサロン、11月には大阪ニコンサロンにて写真展「村の記憶」を開催。名古屋ビジュアルアーツ非常勤講師。公益社団法人日本写真家協会会員。

津市美里図書館・三重県立図書館